

禁煙科学 Vol. 14(08), 2020.08



今月号の目次

【連載】

禁煙科学 最近のエビデンス (2020年8月 KKE284-285)

KKE284 「大麻使用・精神疾患を伴う34歳重喫煙妊婦への集学的禁煙介入の一例」

KKE285 「能タバコ依存症成人への禁煙補助薬開始ガイドライン：米国胸部疾患学会」

舘野 博喜 1

【連載】

週刊タバコの正体 (2020年8月 No. 631-633)

奥田 恭久 10

禁煙科学 最近のエビデンス 2020/08

さいたま市立病院 館野博喜

Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われたものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

2020/08 目次

KKE284 「大麻使用・精神疾患を伴う34歳重喫煙妊婦への集学的禁煙介入の一例」

KKE285 「能タバコ依存症成人への禁煙補助薬開始ガイドライン：米国胸部疾患学会」

KKE284

「大麻使用・精神疾患を伴う34歳重喫煙妊婦への集学的禁煙介入の一例」

Melissa A Jackson等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Jul 2;17(13):4770. PMID: 32630743

<https://www.mdpi.com/1660-4601/17/13/4770/htm>

豪州における”報酬を伴う妊婦禁煙プログラム (iQuiP)” に参加した34歳妊婦への、困難を伴った介入事例を紹介する。

- ニューサウスウェールズ州の病院の薬物乱用妊婦支援を受診した34歳妊婦が、iQuiPプログラムに紹介となった。
- 妊婦検診は23週で初めて受診しており、公共住宅に住み、4歳の娘を一人で養育し、生活保護を受給していた。
- 子供たちの父親から身体的精神的暴力を受けており、このパートナーとの関係は終了していた。
- 既往歴には喘息とβサラセミアがあり、双極性感情障害、PTSD、全般性不安障害の診断を受けていた。
- 20代後半から大麻使用歴があり、1gをタバコと混ぜて、主に夜に使用していた。
- 大麻使用は妊娠早期にやめており、飲酒・麻薬・覚醒剤等の薬物は使用していなかった。
- 1日約30本のタバコを吸っており、胎児への悪影響と自身の呼吸器系への悪影響を懸念して強い禁煙希望を持っていた。
- 喫煙は11歳時に親の喫煙や周囲の影響で始め、夜間に6回ほど喫煙のために起きていた。
- 禁煙は何度も試みており、最長はニコチンパッチを使用した4年間で、周囲の影響から再喫煙した。
- 一番最近の禁煙は手術のときで、妊娠中の禁煙経験はなかった。
- 面談では妊娠中の喫煙に対する強い罪悪感と、胎児への影響の心配が表出され、娘の低出生体重は自分の喫煙のせいだと考えていた。
- 喫煙とコーヒー摂取に強い関連性を感じており、支援者である母や姉妹も喫煙者であった。
- 禁煙とそれに伴う離脱症状への強い恐怖が見られたが、長期の禁煙を強く希望していた。
- 初期評価として、うつ (PHQ-9 : 16/27点)、不安 (GAD-7 : 10/21点)、飲酒 (AUDIT-C)、薬物使用 (ATOP)、幼少時虐待 (CTQ) が調べられた。
- 10点式のVAS自己評価では、情緒的健康度は7点、身体健康度は4点、総合的QOLは7点だった。
- 幼少時トラウマ指数からは、身体的・性的・情緒的に重度から極度の虐待を受けていた。

- 身体的ネグレクトの程度は中等度から重度に相当した。
- FTNDは9点で重度のニコチン依存であり、呼気COは44ppmであった。
- 双極性感情障害はオランザピン10mg/日とエシタロプラム20mg/日で治療されており、リチウム製剤は妊娠早期に終了された。
- 過去の禁煙治療にはNRT（短時間および長時間作用型）、バレニクリン、電子タバコが使用されていた。
- iQuitプログラムでは、呼気COで確認した禁煙・減煙に対する漸増式の報酬、個別化したNRT処方、電話カウンセリング、が提供された。
- COは自己測定するところを撮影してデーターを記録し、4週目までは1日2回、それ以降は1日1回データーを送付し、6ppm未満で報酬が提供された。
- 短時間および長時間作用型のNRTは、本人および喫煙者のパートナーに対し産後12週間まで無料で提供された。
- 電話カウンセリングは本人の希望する頻度に合わせて、産後12週目まで提供された。
- 初回に提供されるNRTには、TTS30相当のパッチ、4mgのガム、15mgのインヘラー、1mgの経口スプレー、4mgのドロップ、が含まれ、数日間で全種を使ってみて、気に入ったものがその後も提供された。
- 患者は、プログラム開始から8日目に禁煙に至り、初期2-3週目に強い喫煙欲求や渴望が報告された。
- 24時間のパッチ使用と経口スプレー剤は、夜間の喫煙抑制に有効であった。
- 2週間でNRT使用は増加し、禁煙3週目までに以下ようになっていた：
- パッチ1枚+ガム6個+ドロップ7個+インヘラー6回+経口スプレー43回=計180mg/24時間のニコチンに相当。
- 妊娠中の体内コチニン半減期は約9時間とされ、尿中コチニンはニコチン過剰の指標になる。
- 患者の検体では2,041 μ g/Lであり、喫煙者一般と比較すれば低いほうであった。
- その後NRT使用は一定化し、パッチ1枚+経口スプレー90回が禁煙6週目まで使用された。
- 38.5週目に3,300gの男児を出産した。
- CO<6ppmが101回確認され、計\$1,069.90（当時の豪ドル換算で¥85,000ほどか）が商品券で支払われた。
- 30分の電話支援は計10回行われた。
- 産後は報酬は支払われなかったが、NRTと2回の電話支援により禁煙が維持され、産後12週目では、呼気CO 0ppmと禁煙が確認された。
- パッチは夏場になってはがれやすくなり使用されなくなったが、経口スプレーは1日90回使用されていた。
- プログラム終了後は助成がなくなり、スプレーの頻用は経済的に厳しいと考えられたため、年に12週間は助成がなされるパッチ等、他のNRT使用が勧められたが、使用されることはなかった。
- 産後12週目にプログラムは終了し、その後のフォローは地域保健の薬物カウンセリング支援に移行した。
- 追跡レポートによると、数か月後に喫煙と薬物使用に戻っていた。
- 再喫煙の要因として、気分の低下、孤独感、日中の無為な時間、そして経口スプレーが高くて買えないことが示されていた。

<選者コメント>

豪州より、禁煙困難例に対する組織的介入の報告です。

薬物依存、精神疾患・トラウマ、貧困、重度のニコチン依存、等を有する34歳妊婦に対し、iQuitという集学的な介入が行われました。妊婦に対しては米国を中心に、報酬を伴う介入の有効性が報告されていますが、本プログラムでも計10万円近い報酬と、複数のNRT、行動支援などの電話カウンセリングが提供されました。夜中に何度も起きて喫煙するほど重度のニコチン依存があり、1日180mg相当のニコチン製剤（TTS30だと1日9枚ほ

ど!) を使用しながら、翌週には喫煙ゼロ本に至り、産後12週目まで禁煙の継続が確認されました。もともと強い禁煙動機があったこと、呼気COの改善を自分で確認できるバイオフィードバック効果、週に1-2回の電話支援、なども成功に寄与していると思われませんが、日本の禁煙外来と比較した際に突出して見えるのは、禁煙継続に対して支払われた高額報酬と、日本では妊婦に禁忌とされているニコチン製剤が複数かつ多量に使用されていたことでしょうか。

妊婦ではニコチン代謝が亢進しており、多めのNRT量が必要になることが知られていますが、1日にパッチ9枚相当というのはなかなかです。元気な男児を出産された後に、再び喫煙生活に戻ってしまったのはとても残念ですが、本例のようなハイリスクな方には、禁煙補助薬治療+カウンセリング支援の長期継続が、万国共通の課題なのだと思います。

みなさまは、どのように考えられましたでしょうか？

<その他の最近の報告>

KKE284a 「喫煙とCovid-19の関連についてのレビュー文献のレビュー」

Emily J Grundy等、Tob Induc Dis. 2020 Jul 3;18:58. PMID: 32641924

KKE284b 「ニコチンは重症Covid-19への治療に有効かもしれない：文献レビュー」

Jesus Gonzalez-Rubio等、Front Immunol. 2020 Jun 11;11:1359. PMID:32595653

KKE284c 「Covid-19患者の喫煙者の割合は一般人口より低い：文献レビュー」

Arezou Tajlil等、J Cardiovasc Thorac Res. 2020;12(2):136-139. PMID: 32626554

KKE284d 「入院時に肝障害のあるCovid-19患者は男性・肥満・喫煙者に多い」

Shao-Rui Hao等、Am J Gastroenterol. 2020 Jul;115(7):1075-1083. PMID: 32618658

KKE284e 「Covid-19流行後に禁煙治療を受けた人では成功率が高かった：トルコ」

Burcu Kayhan Tetik等、J Community Health. 2020 Jul 8;1-5. PMID: 32643078

KKE284f 「妊婦NRT使用の胎児への有害性は不明：RCTと非RCTのメタ解析」

Lauren Taylor等、Addiction. 2020 Jul 4. PMID: 32621526

KKE284g 「妊婦の喫煙と禁煙に関する系統的レビュー」

G Grange等、J Gynecol Obstet Hum Reprod. 2020 Jun 30;101847. PMID: 32619725

KKE284h 「喫煙はクローン病への抗TNF治療効果を低下させる：メタ解析」

Sangmin Lee等、J Crohns Colitis. 2020 Jul 5;jjaa139. PMID: 32621742

KKE284i 「世界の統合失調症喫煙者の禁煙率に関するメタ解析」

Liang-Nan Zeng等、Asian J Psychiatr. 2020 Jun 6;54:102190. PMID: 32622029

KKE284j 「癌診断時に禁煙すると死亡リスクが減る：マルチオミクスデータの統合解析」

Sheng Yang等、Mol Oncol. 2020 Jun 24. PMID: 32580248

KKE284k 「疼痛がある喫煙者は禁煙しにくい」

Joseph W Ditte等、Nicotine Tob Res. 2020 Jun 28;ntaa111. PMID: 32594124

KKE284l 「4種の漸減禁煙法の人気度と効果の比較：RCTの二次解析」

Nicola Lindson等、Nicotine Tob Res. 2020 Jul 1;ntaa123. PMID: 32609847

KKE284m 「欧州9か国の喫煙率・関連死亡とその社会的不平等性の解析」

Andrea Teng等、PLoS One. 2020 Jul 10;15(7):e0232971. PMID: 32649731

KKE284n 「腹腔鏡手術の入院期間や縫合不全は禁煙4週間未満だと多い」：日本からの報告

Yoshikazu Inoue等、J Anesth. 2020 Jun 23. PMID: 32577911

KKE284o 「肺移植待機患者にはニコチン製品を使用していないと偽っている者も多い：ドイツ」

- Tobias Veit等、PLOS One. 2020 Jun 18;15(6):e0234808. PMID: 32555678
- KKE284p 「胸部外科手術を受けた喫煙者は禁煙率が2倍になり電話支援を受けると3倍になる：後方視的調査」
Mollie M Mustoe等、JAMA Surg. 2020 Jul 1:e201915. PMID: 32609348
- KKE284q 「外傷患者のARDS発症への関与は近年では能動喫煙より受動喫煙のほうが高くなっている」
Farzad Moazed等、Chest. 2020 Jun 20;S0012-3692(20)31724-4. PMID: 32574574
- KKE284r 「母親の喫煙は小児の肥満と関連する：欧州6つのコホートから」
Martine Vrijheid等、Environ Health Perspect. 2020 Jun;128(6):67009. PMID: 32579081
- KKE284s 「ADHDのある初産婦は妊娠中も喫煙率が高い：北欧」
Anneli Andersson等、PLOS One. 2020 Jun 18;15(6):e0234561. PMID: 32555596
- KKE284t 「患者の禁煙率は医療者や医療制度により差がある：米国」
Saja Almaaitah等、Chest. 2020 Jun 16;S0012-3692(20)31682-2. PMID: 32561440
- KKE284u 「喫煙関連癌の癌サバイバーは2割が喫煙を継続している：2017年米国2.6万人調査」
Ellen R Gritz等、JAMA Netw Open. 2020 Jul 1;3(7):e209072. PMID: 32614423
- KKE284v 「受動喫煙のある女性は用量依存性に糖尿病罹患率が高い：韓国13万人の調査」
Byung Jin Kim等、J Diabetes. 2020 Jul 1. PMID: 32613744
- KKE284w 「能動・受動喫煙のある女性は初経が早い：韓国の横断調査」
S H Kang等、Public Health. 2020 Jul 1;185:144-149. PMID: 32622222
- KKE284x 「家庭での受動喫煙のない子供の尿からもNNALは検出される（三次喫煙か）：韓国」
Myung-Bae Park、Sci Rep. 2020 Jul 7;10(1):11173. PMID: 32636401
- KKE284y 「ADHDを伴う薬物依存症者はニコチン依存が強く衝動性の関与が大きい」
Natalie C Sanchez-Garcia等、Eur Addict Res. 2020 Jun 19;1-10. PMID: 32564016
- KKE284z 「黒人はCHRNA5遺伝子多型とNRTやバレニクリン治療効果が関連する（RCT）」
Li-Shiun Chen等、Clin Pharmacol Ther. 2020 Jun 29. PMID: 32602170
- KKE284aa 「重症精神疾患患者は禁煙すると症状が改善し禁煙の成否はCHRNA5遺伝子多型と関連する」
A G Segura等、Schizophr Res. 2020 Jun 14;S0920-9964(20)30276-0. PMID: 32553632
- KKE284ab 「喫煙行動と関連する遺伝子多型は統合失調症と関連しなかった：東アジア人でのメンデル無作為化解析」
Jianhua Chen等、Br J Psychiatry. 2020 Jun 18;1-6. PMID: 32552923
- KKE284ac 「報酬による禁煙プログラムの成功率は報酬額の高さと関連しない：26報の解析」
Rachel J Breen等、Addict Behav. 2020 Jun 11;110:106513. PMID: 32590220
- KKE284ad 「喫煙可能年齢を21歳へ上げることへの支持率調査：2018年豪加英米4か国調査」
Summer Sherburne Hawkins等、Nicotine Tob Res. 2020 Jul 1;ntaa119. PMID: 32609835
- KKE284ae 「Twitterに見るJUULのやめにくさ」
Jennifer B Unger等、Addict Behav Rep. 2020 May 19;12:100286. PMID: 32637562
- KKE284af 「FDAによるIQOS販売認可は科学的エビデンスを無視している」
Lauren Kass Lempert等、Tob Control. 2020 Jun 29;tobaccocontrol-2019-055585. PMID: 32601147
- KKE284ag 「加熱式タバコとウルトラ・ライトタバコの有害化学物質の比較」
Liyun Wang等、Toxicol Lett. 2020 Oct 1;331:200-207. PMID: 32569802
- KKE284ah 「IQOS煙は紙巻きより歯のエナメル質への着色が少ない」：PM社
Adrian Haiduc等、J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci. 2020 Jun 10;1152:122228. PMID: 32585495

「タバコ依存症成人への禁煙補助薬開始ガイドライン：米国胸部疾患学会」

Frank T Leone等、Am J Respir Crit Care Med. 2020 Jul 15;202(2):e5-e31. PMID: 32663106

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7365361/>

→米国公衆衛生局USPHSのタバコ依存症治療ガイドライン2008年版を拡張し、効果と有害事象を勘案した科学的な薬物療法開始に関する方針指針を作成した。

→妊婦や未成年者は対象から除外した。

→カウンセリング、健康保険、タバコ政策、二次治療なども重要な課題ではあるが、今回は主題とせず、タバコ依存症治療における下記4つの基本事項が認められていることを前提としガイドラインを作成した。

- a) すべての患者はタバコ使用について質問を受け、タバコ依存につき評価されるべきである。
- b) タバコ曝露による健康被害のみならず、タバコ依存の診断についても患者の病名に含めるべきである。
- c) 単に禁煙を勧めるだけでは不十分である。タバコを使用するすべての患者に、薬物療法を含めたエビデンスに基づく禁煙治療が提供されるべきである。
- d) タバコ依存症への介入は継続的なフォローアップが必要であり、他の慢性疾患の継続的な評価や管理と同様である。

→ただし、ガイドラインはあらゆる臨床状況に対応できるものではなく、臨床医の判断に代わるものでもなく、強要するものでもない。

→個々の患者に応じて、患者の価値観や好みを考慮し利用していただきたい。

推奨1)

Q：これから治療を始めるタバコ依存症の成人には、バレニクリンとニコチンパッチのいずれで開始すべきか？

A：バレニクリンを推奨する。（強い推奨、エビデンスレベル：中）

背景：両者を直接比較した14件のRCTがあった。

委員会での討議の結果、バレニクリンのほうが長期禁煙率が高く、重篤な有害事象も少ないことから上記結論に至った。

推奨2)

Q：これから治療を始めるタバコ依存症の成人には、バレニクリンとブプロピオンのいずれで開始すべきか？

A：バレニクリンを推奨する。（強い推奨、エビデンスレベル：中）

背景：7件のRCTがあり、効果と有害事象の点から上記結論に至った。

推奨3)

Q：これから治療を始めるタバコ依存症の成人には、バレニクリン+ニコチンパッチの併用か、バレニクリン単剤か、いずれで開始すべきか？

A：バレニクリン+ニコチンパッチの併用を提案する。（条件付き推奨、エビデンスレベル：低）

背景：直接比較した3件のRCTがあり、合わせて893人が参加していた。

討議の結果、バレニクリン+ニコチンパッチ併用のほうが有効性が高いが、重篤な有害事象がわずかに増加する可能性があることから、上記結論に至った。

推奨4)

Q：これから治療を始めるタバコ依存症の成人には、バレニクリンと電子タバコのいずれで開始すべきか？

A：バレニクリンを提案する。（条件付き推奨、エビデンスレベル：とても低い）

背景：直接比較した研究は、1件のRCTの学会抄録と1件の比較観察研究のみと少なかった。

そのため、バレニクリン対NRTの11件のRCTと、電子タバコ対NRTの2件のRCTに関するネットワークメタ解析も行った（計8,830人）。

討議の結果、バレニクリンの優位性は不確実だが、有害事象は少ない可能性があり、上記結論に至った。

付記：今回の評価後に、電子タバコの重篤な有害事象が新たに浮上した。もしこの有害事象が継続的に報告されるようであれば、推奨の強度は再評価が必要である。なお、この推奨は臨床家の監督のもとタバコ依存治療として行われることを意図したもので、自己治療や遊興での使用には敷衍できない。

推奨5)

Q：まだタバコをやめる用意のないタバコ依存症の成人には、バレニクリン治療を開始すべきか？、それとも準備できるまで待つべきか？

A：バレニクリンを開始することを推奨する。（強い推奨、エビデンスレベル：中）

背景：禁煙の用意のできていない患者も、タバコ依存症治療には意欲的なことがある。

禁煙準備のできていない喫煙者への治療効果を見た4件のRCTと、禁煙希望のない喫煙者へのバレニクリン15日間投与実験1件があった。

討議の結果、バレニクリン開始は長期禁煙率を高め、重篤な有害事象も少ないことから、上記推奨に至った。

推奨6)

Q：薬物依存症、うつ病、不安障害、統合失調症、双極性障害などの精神疾患を有するタバコ依存症の成人には、バレニクリンとニコチンパッチのいずれで開始すべきか？

A：バレニクリンを推奨する。（強い推奨、エビデンスレベル：中）

背景：精神保健領域では今もバレニクリンによる神経精神的有害事象に対する思い込みがあり、これを見直すことは重要である。

精神疾患患者へのバレニクリン対ニコチンパッチを比較した2件のRCTがあった。

討議の結果、バレニクリンのほうが効果が高く、重篤な有害事象も殆どから全く差がないことから、上記推奨に至った。

推奨7)

Q：これから治療を始めるタバコ依存症の成人には、標準的な6-12週間の治療をすべきか？、それとも12週を越える延長治療をすべきか？

A：12週間を越える延長治療を推奨する。（強い推奨、エビデンスレベル：中）

背景：バレニクリン、ブプロピオン、NRTに関する延長治療 vs 標準治療を比較した12件のRCTがあった。

討議の結果、12週間以上の延長治療のほうが禁煙率や再喫煙率の結果が優れ、重篤な有害事象の増減も見られないことから、上記推奨に至った。

<各推奨により予想される効果のまとめ>

(6か月後の7日間禁煙率・有害事象：相対リスク (95%CI)、絶対効果：1,000人への介入により増減する禁煙成功者数・有害事象人数、*：統計学的に有意)

	6か月後の7日間禁煙率	絶対効果	有害事象	絶対効果
推奨1)	1.20* (1.09-1.32)	+40人	0.72 (0.52-1.00)	-3人
推奨2)	1.30* (1.19-1.42)	+77人	0.81 (0.57-1.16)	-3人
推奨3)	1.36* (1.07-1.72)	+105人	1.06 (0.27-4.05)	+1人
推奨4)	1.44 (0.75-2.80)	+143人		
推奨5)	2.00* (1.70-2.35)	+173人	1.75 (0.98-3.13)	+12人
推奨6)	1.31* (1.12-1.53)	+36人	0.95 (0.54-1.67)	-1人
推奨7)	1.22* (1.07-1.39)	+53人	1.37 (0.79-2.36)	+3人

(ただし、推奨7は12か月後の7日間禁煙率)

→7つの推奨によりタバコ依存症治療の効果が高まることが期待される。

<選者コメント>

米国の胸部疾患学会から、禁煙薬物治療の導入に関するガイドラインです。

薬剤の種類ではバレニクリンが第一選択薬であり、精神疾患の有無は問わず、バレニクリンにパッチの併用も提案、電子タバコはあまり勧めない、準備期までいかなくてもバレニクリンを開始し、12週間を越えて使用を、といった推奨になっています。ほぼ北米人のメンバーからなる委員会が、無作為化比較試験RCTを中心に系統的レビューとメタ解析を行い討議した結論になりますが、客観的な解析結果とはこういうものか、とある意味感心させられました。

バレニクリンの処方割合が低い国では推奨の効果が大きそうですが、ニコチン製剤もバレニクリンと同じ土俵で駆使している日本の臨床家の手応えとは、やや異なる印象もあるように思われます。ガイドラインと大規模臨床試験の蜜月は今後も続いていくのでしょうか。

また、海外で販売されているニコチン入り電子タバコは、IQOSなどの加熱式タバコとは異なるものですが、ともにニコチン依存を維持させる製品であり、それらの使用からも解放されることが本当の禁煙であることは心しておく必要があるでしょう。

本ガイドラインが日本での実臨床に与えるインパクトはあまり大きくないかもしれませんが、海外（北米）では標準治療がどのように考えられてきているか、ご参考になればと思い紹介させていただきました。

<その他の最近の報告>

KKE285a 「Covid-19入院患者に現喫煙者は少なく禁煙者より予後も良かった：メタ解析」

Konstantinos Farsalinos 等、Ther Adv Chronic Dis. 2020 Jun 25;11:2040622320935765. PMID: 32637059

KKE285b 「重症Covid-19の死亡因子のひとつは喫煙歴：中国」

Jin-Jin Zhang等、Allergy. 2020 Jul 14;10. PMID: 32662525

KKE285c 「Covid-19の流行は精神科における禁煙推進の好機であろう」

Natalie Kim Seiler等、J Addict Dis. 2020 Jul 12;1-32. PMID: 3265767

KKE285d 「若年成人を重症Covid-19から守るには防煙が重要」

Sally H Adams等、J Adolesc Health. 2020 Jul 9;67(3):362-368. PMID: 32674964

- KKE285e 「Covid-19が脳感染を生じるなら喫煙者はリスクが高いかもしれない」
Nadine Kabbani等、Mol Pharmacol. 2020 May;97(5):351-3530. PMID: 32238438
- KKE285f 「喫煙はCovid-19死亡と有意な関連なし：武漢599例の解析」
Dong Liu等、J Med Internet Res. 2020 Aug 13;22(8):e20108. PMID: 32716901
- KKE285g 「喫煙者・COPD・肺線維症患者の肺組織にはCovid-19罹患に関連する分子の発現が亢進している（未査読）」
Krishna P Maremanda等、Res Sq. 2020 Jun 15;rs.3.rs-35347. PMID: 32702724
- KKE285h 「電子タバコに関する豪州ニュージーランド胸部疾患学会の見解」
Christine F McDonald等、Respirology. 2020 Jul 26. PMID: 32713105
- KKE285i 「受動喫煙と小児喘息に関するメタ解析」
Zonglin He等、Pediatr Pulmonol. 2020 Jul 15. PMID: 32667747
- KKE285j 「電子タバコの米国若者への広がり」とEVALIについてのレビュー」
Meagan Shinbashi等、Paediatr Respir Rev. 2020 Jun 11;S1526-0542(20)30088-9. PMID: 32653465
- KKE285k 「電子タバコが各種臓器におよぼす影響に関するレビュー」
Radhika Seiler-Ramadas等、Wien Klin Wochenschr. 2020 Jul 20. PMID: 32691214
- KKE285l 「喫煙と化膿性汗腺炎の関係性に関するレビュー」
Zrinka Bukvic Mokos等、Acta Dermatovenerol Croat. 2020 Jul;28(1):9-13. PMID: 32650845
- KKE285m 「喫煙は膀胱癌の原因の半数：レビュー」
Keiichiro Mori等、Curr Opin Urol. 2020 Sep;30(5):720-725. PMID: 32701723
- KKE285n 「喫煙は骨髄増殖性疾患のリスク因子のひとつ：レビュー」
Gajalakshmi Ramanathan等、Cancers (Basel). 2020 Jul 24;12(8):E2038. PMID: 32722135
- KKE285o 「精神的問題を有する喫煙者への心理学的禁煙介入の効果に関する系統的レビュー」
Katie Lightfoot等、Br J Health Psychol. 2020 Sep;25(3):615-638. PMID: 32678937
- KKE285p 「食事からのニコチン摂取は女性におけるパーキンソン病発症の抑制因子であった：米国5万人26年間の追跡」
Chaoran Ma等、Am J Clin Nutr. 2020 Jul 29;nqaa186. PMID: 32725131
- KKE285q 「禁煙4年以降に4kg以上体重が増えていても心筋梗塞や脳梗塞のリスクは下がっていた：韓国380万人の調査」
Jung-Hwan Cho等、PLoS One. 2020 Jul 16;15(7):e0235276. PMID: 32673331
- KKE285r 「2015年6月の包括的禁煙政策導入後に北京での心筋梗塞・脳卒中の入院が急減した」
Yunting Zheng等、Tob Control. 2020 Jul 15;tobaccocontrol-2020-055663. PMID: 32669389
- KKE285s 「職場における動機づけ面接集団講習は長期禁煙効果があった：RCT」
Pasquale Caponnetto等、J Addict Dis. 2020 Jul 7;1-10. PMID: 32634052
- KKE285t 「職域における電話禁煙支援は禁煙治療効果を高める：RCT」
Nancy A Rigotti等、Prev Med. 2020 Jul 18;106216. PMID: 32693177
- KKE285u 「学校における禁煙政策の程度と反喫煙意識との関連：欧州7か国での調査」
Pierre-Olivier Robert等、PLoS One. 2020 Jul 14;15(7):e0235772. PMID: 32663217
- KKE285v 「自力禁煙者の4割以上が成功するが受動喫煙とタバコ広告への曝露があると禁煙しづらい：中国」
Shuhan Jiang等、Tob Control. 2020 Jul 16;tobaccocontrol-2019-055594. PMID: 32675250
- KKE285w 「50歳以下の心筋梗塞患者でその後1年以内に禁煙した者は11年間の死亡率が半分であった」
David W Biery等、JAMA Netw Open. 2020 Jul 1;3(7):e209649. PMID: 32639567

KKE285x 「家と学校の両方で受動喫煙のある若者はうつ症状が多い：韓国」

Bich Na Jang等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Jul 15;17(14):5116. PMID: 32679863

KKE285y 「4人種5千人を用いた喫煙と体重変化に関するGWAS遺伝子解析：中国」

Ting Xu等、Sci Rep. 2020 Jul 22;10(1):12136. PMID: 32699216

KKE285z 「喫煙による白血球増多が減煙で改善するには8週間かかる」

Caleb J Smith等、Am J Med. 2020 Jul 16;S0002-9343(20)30596-9. PMID: 32682870

KKE285aa 「中毒情報センターに問合せのあった電子タバコ火傷例のうち医療機関を受診したのは1/5のみ：米国」

Baoguang Wang等、Inj Epidemiol. 2020 Jul 20;7(1):36. PMID: 32684171

KKE285ab 「喫煙する男子高校生は歯痛や知覚過敏が多く症状があると禁煙に前向き：サウジアラビアの横断調査」

Muhammad Nazir等、Int J Dent. 2020 Jul 9;2020:8823146. PMID: 32695169

KKE285ac 「禁煙外来成功者の血管内皮機能FMD改善にはブリンクマン指数や血圧が関連する」：日本からの報告

Kazuo Fukumoto等、Hypertens Res. 2020 Jul 21. PMID: 32694770

KKE285ad 「前立腺肥大手術後の慢性炎症や機能低下は禁煙期間と逆相関する」：日本からの報告

So Inamura等、Int J Urol. 2020 Jul 24. PMID: 32710513

KKE285ae 「紙巻から加熱式タバコに変更4か月後に急性好酸球性肺炎と診断された47歳女性」：日本からの報告

Tomoko Tajiri等、Intern Med. 2020 Jul 21. PMID: 32713912

KKE285af 「iQOSに関する知見と今後の課題についてのまとめ」

Carla J Berg等、Sage Open. Jan-Mar 2020;10(1):10.1177/2158244019898823. PMID: 32719733

KKE285ag 「加熱式タバコ抽出液は内皮細胞遊走能を損なわない」：BAT社

Emma Bishop等、Toxicol Lett. 2020 Jul 11;S0378-4274(20)30329-5. PMID: 32707277

日本禁煙科学会HP

URL: <https://www.jascs.jp/>

※日本禁煙科学会ホームページのアドレスです。
※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。



ふえる笑顔 禁煙ロゴ

筋肉の疾患で体の不自由な浦上秀樹さん（埼玉県在住）が、口に筆を取って書いてくださった書画です。「けんこうなしゃかい ふえるえがお」という文字を使って『禁煙』をかたどっています。

※拡大画像は日本禁煙科学会ホームページでご覧頂けます。
※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。

URL : https://www.jascs.jp/gif/egao_logo_l.jpg



編集委員会

編集委員長 中山健夫
編集委員 野田隆 東山明子 高橋裕子

日本禁煙科学会

学会誌 禁煙科学 第14巻(08)
2020年(令和2年)8月発行
URL : <https://www.jascs.jp/>
事務局 : 〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町 948-4
めぐみクリニック(未成年者禁煙支援センター)内
E-mail : info@jascs.jp